

これまた今年も
観音山染料植物園の福寿
草
花を訪ねて三千里シリーズ第13
弾

走行日:2008年2月16日

コース:～馬庭～南陽台～観音山ファミリー

パーク～白衣観音～染料植物園～上奥平～多
胡橋～

距離:28.5km(=7里強) 累計 94里

今日も丸一日ロングを走る予定だったが、とりあえず職業「学生」。明日テストがあるのに、まだ対策不十分。ほら、パソコンやってる場合じゃないんだけど。で、まあ、オベンキョの時間作るため、4時間コースにした。あまりに遅くて4時間半くらいかかってしまった。福寿草が咲き始めているので、観音山の染料植物園に。昨年と同じような写真が多いけどね。



昨年の9月、台風であふれた鎚川だが、普段の水量はこれくらい。向こうに上信電鉄の鉄橋が見える。その奥の丘陵が今日走るところ。空気が澄んで、真っ白な浅間がきれい。



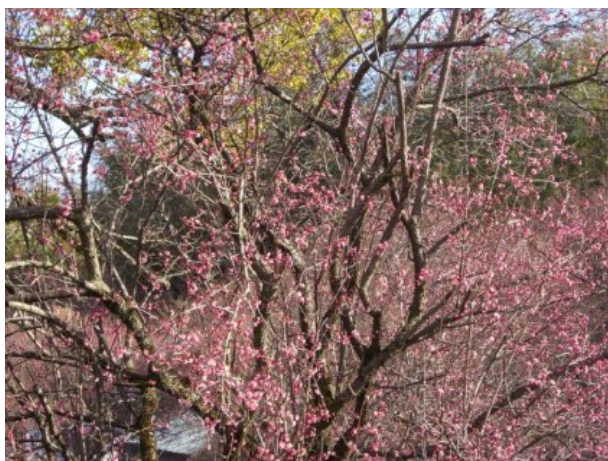
ふみきりを渡り、馬庭念流道場を通過して(100mほど回り道だが、なんとなくいつも通っている)田んぼの間をぬけ、南陽台に。周囲は山、丘陵なんだけど、ここは普通に都市近郊と変わらない住宅地。バブルの頃はずいぶんなお値段だったらしい。



高崎への幹線道路に出ると、向かい側に創造学園大学。入り口に水琴窟のデカイ看板がある。そんなに特別なもの？茶室のある和風庭園はしっとりといい雰囲気だけど、普通の水琴窟だ。



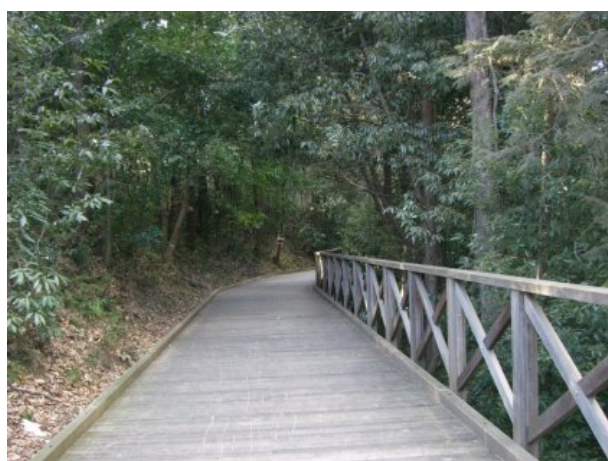
坂を下り、城山団地入り口を反対側へ、観音山ファミリーパークでトイレ休憩。今日はクロカンコースに入らず、白衣観音に向かう。尾根筋の道(山道ではなく車道)の、展望が開けたところから、榛名山をバックに向こうの丘の上に白衣観音が見える。まだ遠いな。



丘陵から下る道の分岐には、寒紅梅の美しい家がある。ウグイスらしきものが梅の枝にとまっていた。坂を下りたところには、「館の百庚申」このへん、あちこちに百庚申がある。



老人ホームの横からまた丘陵に登る。住宅地を抜けると、林の中の遊歩道。右側に数年前廃業したまま放置されていたカッパピア、やっと遊具の撤去がされた。白衣観音の下まで行ったら、左へ。



染料植物園に到着。とりあえず、ボードウォークで吊橋へ。



吊橋といっても、ワイヤーの固定がガッシリで、全然揺れない。(これを渡って坂を登ると、先ほどの遊歩道に出る。)丘陵地の遊歩道ぞいにさまざまな染料植物が植えられ、一つ一つに説明板がついている。



和紙の原料のミツマタも染料にもなるんだね。冬中白い蕾の状態だ。知らないときはこういう花なのかと思っていた。



福寿草は斜面に点在していた。つぼみがやっと出てきた株もあり、これから最盛期だ。土だけの斜面に、黄色の花が映える。



一段上の遊歩道沿いには、もっとたくさん。蠟梅の並木もあり、木は小さいが、遅咲らしく、花がまだ枯れてなくてきれいだった。ふくいくとした香りがあたりに漂う。



森の中の遊歩道で、駐車場方向へ。公園の外の道路に出て、坂を下り、村におりたらまた向かい側の丘陵に登る。アップダウンだらけのコースだ。



丘陵の上に出た。谷間をはさんで向こうの丘陵にゴルフ場が見える。こんどは谷間に下りず、尾根沿いに行ける。帰り道はいつも通る道。ゴルフ場の間、見晴らしが良い。山荘到着のころ日没で、夕日の当たった雲がきれいだった。

[からっ風にふかれてぶーらぶらTOPへ](#)
[OME](#)

[花を訪ねて三千里TOPへ](#)

[からっ風の丘からH](#)

[旅がらすの乱RUN欄8年2月へ](#)